

3月

定例議会レポート

1. 総合計画後期基本計画

今回の「第五次総合計画後期基本計画」は、平成28年度からの後期5年間の「基本計画」およびこれを実施するための「実施計画」を定めるものです。これは、平成22年12月議会で議決された目標年次を平成32年度とした「第五次総合計画」の10年間の基本構想を具体化する後期5年分の計画です。

今回から新しく議会の議決事項となりました。

策定に当たり、規程に基づき設置された策定委員会が、市民意識調査、市長への手紙、校区自治協議会、関係市民からの聞き取り調査を参考にして後期基本計画案を策定し、太宰府市総合計画審議会へ諮問し、審議会答申を受けてパブリックコメントを実施し、その意見を踏まえて、さらに検討したうえで、今回議会上程されました。

議会におきましては、平成27年12月17日に総合計画特別委員会を設置し、平成28年1月から4回後期基本計画案について調査研究を行い、上程後の特別委員会では、パブリックコメント並びに太宰府市総合計画審議会の意見を反映させた後期基本計画案について、2回慎重審査を行ってまいりました。質疑・討論後、総合計画特別委員会は委員全員一致で原案の通り可決すべきものと決定いたしました。また、本議会上程されましたが、全員一致で原案は可決されました。

執行部におかれましては、委員会でお出されました問題点、指摘事項、意見及び要望について十分に整理、検討され、計画の遂行や、今後策定される実施計画などに反映されることを強く求めました。

2. 主なH27補正予算

○平成27年度の一般会計予算は、歳入歳出それぞれ6億7,888万9千円追加し、総額272億4,933万1千円となりました。大きな追加項目としては、国民健康保険事業特別会計関係費への繰り出しとして1億1,977万5千円、臨時福祉給付金等給付事業費2億2,373万2千円、中学校施設整備費としての1億2,890万円があげられます。

○特別会計予算は、国民健康保険事業が歳入歳出125万円追加され、総額100億8,398万3千円となりました。また、後期高齢者医療については歳入歳出25万5千円追加され、総額11億4,025万9千円となりました。さらに、介護保険事業では歳入歳出4,648万8千円追加され、総額45億9,202万4千円となっております。

○水道事業のうち収益的収支については、収入を2,703万3千円減額し14億3,916万3千円に、支出を1,399万8千円減額して12億5,032万9千円にそれぞれ補正されました。資本的収支については、収入を165万5千円減額して1,147万9千円に、支出を2,813万5千円減額して4億2,496万円に補正されました。

○下水道事業のうち収益的収支については収入を920万2千円増額し18億4,277万8千円に、支出を46万6千円減額し14億8,436万円に補正されました。資本的収支については、収入を7,978万円減額し7億7,145万1千円に、支出を1億236万4千円減額し16億5,038万2千円に補正されました。

3. 指定管理者

○太宰府市太宰府史跡水辺公園の指定管理者につき、以下の議決をしました。

- ・指定管理者となる団体…代表団体（シンコースポーツ九州株式会社）構成団体（西鉄ビルマネージメント株式会社、アシックスジャパン株式会社）平成28年4月1日から平成33年3月31日まで。

○太宰府市総合体育館の指定管理者につき、以下の議決をしました。

- ・指定管理者となる団体…上記と同じ者。平成28年11月1日から平成33年3月31日まで

4. ごみ袋料金改定

○ごみの指定袋ならびにシールの価格が次のように改訂されました。

- ・一般家庭用 燃えるごみは大中小が用意され大45Lは1枚45円、中30Lは1枚30円、小15Lは一枚15円。またペットボトル白色トレイ用は大きさは変わらず、1枚20円。また粗大ごみ・枝せんていで使われるシールは500円になります。
- ・業務用 燃えるごみは特大が80Lから70Lに変わり、1枚140円、大45Lが1枚90円に、またペットボトル白色トレイ用は45Lで1枚30円になります。